

オリエンタルハイブリッド系ユリの作型設定

高橋 道雄*・五十嵐 徹・丹野 富雄*・香山 武司

(山形県立園芸試験場・*山形県園芸特産課)

Cropping type of Oriental Hybrid Lilies.

Michio TAKAHASHI*, Tohru IKARASHI, Tomio TANNO* and Takeshi KAYAMA.

(Yamagata Horticulture Experiment Syation・
*Yamagata Horticulture Development Division)

1 はじめに

本県のユリ類の生産は露地栽培がほとんどでスカシユリ、シンテッポウユリが多く、出荷は6月上旬から7月上旬の期間と9月上旬の時期で比較的短期間に集中している。近年の傾向としてオリエンタルハイブリッド系ユリの栽培が施設の組合わせ品目として増加しており、本県の適作型について検討した。

2 試験方法

試験1 春夏出しの栽培管理温度

(1) 1991年：カサブランカ、スターゲイザーの2品種について、購入した凍結貯蔵球根を供試して1月19日にプランターに植付けし、加温温度を最低15°C、10°C、無加温の条件に設定し栽培を行った。

(2) 1992年：カサブランカ、スターゲイザー、グランパラディソの3品種について、1991年秋に採花した後の切り下球を供試して、1月6日にプランターに植付けし、最低温度を15°C、10°C、無加温の条件に設定し栽培を行った。切り下球は12月中旬に掘り上げ、その後植え付け時まで2°Cで貯蔵した。なお、アジアティックハイブリッド系ユリと比較するためにグランパラディソを加えた。

試験2 秋出し栽培の植付け時期

(1) 1991年：カサブランカ、スターゲイザー、グランパラディソの3品種を用い、植付け時期を6月25日、7月25日、8月10日の3期とし、無加温パイプハウスに植付けた。供試球根は購入した凍結貯蔵球根を用いた。植付け後は9月20日まで黒寒冷紗(50%しゃ光)で被覆し、その後は二重カーテンで保温した。

(2) 1992年：カサブランカ、ルレーブの2品種について凍結貯蔵球を用い、植付け時期を6月20日、6月30日、7月10日の3期として、無加温パイプハウスに植付けた。植付け後の管理は前試験と同様とした。

3 試験結果及び考察

(1) 春夏出しの栽培管理温度

1) 開花；両年とも平均開花日は栽培温度の高い順に早まり、15°C区は6月上中旬、10°C区は6月下～7月中旬、無加温区は7月上～下旬となった。品種ではスターゲイザー

の開花が早く15°C区は148日前後、10°C区は163日前後、無加温区は175日前後で到花し、カサブランカはそれぞれ約152日、約172日、約181日であった。開花の年次差は1週間程度となり、2品種とも認められたが、球根前歴によるものかは判然としなかった。

2) 切花品質；各品質とも加温区間に差がみられず、無加温区の草姿が優れたが、商品性は各区とも問題なかった。

表1 春夏出しの加温温度

植付年月	品 種	加温温度 °C	平均 開花日 月日	切花長 cm	花数 個
91/1	カサブランカ	無加温	7/15	103.5	4.8
		10	7/4	102.5	4.7
		15	6/11	103.8	3.8
91/1	スターゲイザー	無加温	7/8	65.3	2.0
		10	6/24	66.2	2.0
		15	6/4	59.5	2.3
92/1	カサブランカ	無加温	7/21	80.2	3.8
		10	7/14	69.4	3.2
		15	6/16	70.5	2.8
92/1	スターゲイザー	無加温	7/15	72.7	3.8
		10	6/25	69.5	3.7
		15	6/15	65.3	3.3
92/1	グ ラ ン パ ラ デ ィ ソ	無加温	6/17	76.0	6.9
		10	6/1	61.3	6.8
		15	5/6	68.3	6.5

(2) 秋出し栽培の植付け時期

1) 開花；6月下旬から7月中下旬の植付けで、カサブランカは9月15日から10月10日、スターゲイザーは9月11日から11月17日、ルレーブは8月17日から8月31日の期間に開花した。

2) 植付け期の晩限；カサブランカの7月25日以降植付け区とスターゲイザーの8月10日植付け区は保温のみの無加温条件では未開花となった。到花日数の長いカサブランカの植え付け時期は7月10日頃、到花日数の短いスターゲイザーは7月25日頃と考えられた。

4 ま と め

(1) 春夏出しの栽培管理温度

加温栽培の開花期は6月上旬～7月中旬、無加温栽培で

表2 秋出しの植え付け時期

植付年月	品 種	植付時期	平均 開花日 月日	切花長 cm	花数 個
91	カサブランカ	6/25	9/26	68.6	1.6
		7/25	未開花	-	-
		8/10	未開花	-	-
91	スターゲイザー	6/25	9/11	48.4	2.0
		7/25	11/17	65.3	2.0
		8/10	未開花	-	-
92	カサブランカ	6/20	9/15	72.4	2.3
		6/30	9/22	67.6	2.2
		7/10	10/10	71.4	2.1
92	ル レ ー ブ	6/20	8/17	59.6	2.3
		6/30	8/24	63.2	2.2
		7/10	8/31	60.7	2.1
91	グ ラ ン パ ラ デ ィ ン	6/25	9/11	76.1	1.3
		7/25	10/30	76.3	1.7
		8/10	12/6	74.0	1.8

7月上～下旬となり、品種間差はあるが年次変動は1週間程度で小さい。最低温度10℃、15℃の加温により約1カ月の前進が可能である。

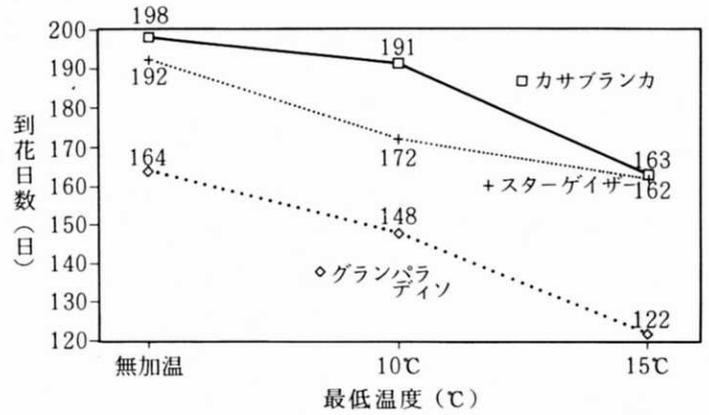


図1 最低温度が到花日数に及ぼす影響 (1992年)

(2) 秋出しの植付け時期

6月20日から8月10日の期間に植付けると、無加温条件での開花期は8月中旬～11月中旬となる。生育、開花は品種間差が大きく、到花日数の長い品種の植付け時期の限界は7月10日頃、同じく短い品種は7月25日頃とみられた。

(3) 以上のことから、品種、加温方法、植え付け時期を組み合わせるにより、図2の作型図のように8月を除き6月上旬から11月中旬までの出荷が可能である。

品 種	植付時期 月/旬	最低温度 ℃	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			123	123	123	123	123	123	123	123	123	123	123	123
カサブランカ	1/上中	無加温	•	—	—	—	—	+	—	—	—	—	—	*
		10	•	—	—	—	—	+	—	—	—	—	—	*
		15	•	—	—	—	—	+	—	—	—	—	—	*
スターゲイザー	1/上中	無加温	•	—	—	—	—	+	—	—	—	—	—	*
		10	•	—	—	—	—	+	—	—	—	—	*	
		15	•	—	—	—	—	+	—	—	—	—	*	
ル レ ー ブ	6/下-7/上	無加温	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
		無加温	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
		無加温	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•

注. • : 植付け, + : 発らい, * : 開花。

図2 オリエンタルハイブリッド系ユリの作型